



合同図書館での上手な判例の探し方

合同図書館では利用者ニーズが高い判例資料の充実を図るために、紙媒体や電子媒体など幅広い収集を行っています。また、それを利用しやすいように配架の工夫をしたり、オリジナルの蔵書検索システムを構築しています。以下にご紹介しますので、ぜひご活用ください。

(東弁・二弁合同図書館事務局 植松 仁美)

Q 最新の情報を探したい場合は？

A オリジナルの蔵書検索システムをご利用下さい

合同図書館では、より最新の判例情報が提供できるよう、新刊図書や雑誌を受け入れる際に、司書が内容を確認し、判例情報を内容細目に入力しています。例えば、判決日が2008年7月24日の場合は、全角で「平20.7.24」、7月4日の場合は、「平20.7.4.」の形式で入力しています。検索の際は、ぜひこの形式をご利用下さい。合同図書館所蔵の図書や雑誌に掲載されている判例やその解説などがヒットします。全てを網羅しているわけではありませんが、速報性があり、データベースで探せない情報を見つけられる可能性があります。

※ご参考までに※

最も速報性があるのは、裁判所ウェブサイトにある最近の判例一覧です。およそ判決日翌日から数週間で全文が公開されます。ただし、公開件数は多くありません。

Q キーワードから探したい場合は？

A データベースをご利用下さい

Westlaw Japan, LLI/DB 新・判例秘書, D1-LAW 判例体系、交通事故判例を導入。

詳細は、LIBRA2008年11月号の「図書館だより」をご覧下さい。

Q 出典がわかっている場合は？

A 判例資料をご覧下さい

○公的判例集

審級別判例集、分野別判例集、大審院時代の判例集

など、ほとんどの公的判例集を所蔵。但し、最高裁判所裁判集民事／刑事は、日弁連所蔵のため予約制。

○判例掲載雑誌

全分野・全審級を収録対象にしている雑誌、分野別雑誌、その他多種多数のタイトルを所蔵。

○加除式資料

判例体系、行政判例集成、判例医療過誤、他20タイトル以上を所蔵。

○その他の刊行物

法律新聞、週刊法律新聞、法律新報、大審院裁判例、大審院判決全集を所蔵。

Q どこにも掲載のない判例を探すには？

A 事件が民事か刑事かによって異なります

○刑事裁判記録（確定記録）

刑事確定記録法に基づいて、第一審の裁判をした裁判所に対応する検察庁で保存。原則として閲覧請求は誰でもできますが、閲覧を制限される場合もあります。謄写方法は検察庁によって異なるため、管轄の検察庁に問い合わせが必要です。

○刑事裁判記録（不起訴記録）

原則として全面的に非公開。しかし、被害者本人や親族に対しては、一部閲覧謄写が認められています。また、正当事由があれば認められる場合もあるので、管轄の検察庁に問い合わせが必要です。

○民事裁判記録

各裁判所で保存。原則として誰でも閲覧可能ですが、謄写は、訴訟当事者及び利害関係人に限定。各裁判所により保存事情がそれぞれ異なるので、あらかじめ確認が必要です。